

事務局： E-mail jaeis-jimu@jaeis.org <http://jaeis.org/>**学会長あいさつ**

ご挨拶

会長 西野 和典 (太成学院大学)

皆様、平素から本学会の活動にご参加、ご協力いただきまして、深く御礼申し上げます。情報科教育でこの1年を振り返ってみますと、昨年3月24日に大学入試センターが、2025年度(令和7年度)の大学入学共通テストから「情報I」を出題科目として加え、一つの試験時間帯で実施する見解が示され、サンプル問題が公表されました。また、7月30日には、文部科学省から「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告」が公表され、「情報I」が出題科目に入ることが決定されました。9月29日には、同予告の(補遺)として、「情報I」を60分で実施することや、2025年度入試では、経過措置として、「社会と情報」や「情報の科学」を履修した受験者が対応できるよう出題を工夫することも発表されました。

今年4月からの「情報I」の授業実施に向けて、文部科学省では、高等学校情報科に関する特設のWebページを開設し、研修教材や実践事例集を公表するとともに、各都道府県に対して、情報科教員の採用や配置を促す通知や情報提供を進めています。実際に、全国の国公私立の高等学校において、情報科教育に関する関心が高まり、情報科教員の研修や新規採用が進められるようになりました。

一方で、GIGAスクール構想の実現に向けて、小・中学校では昨年度末までに、ほとんどの学校で児童生徒1人1台のPCや情報ネットワークが整備され、高等学校においても、今年度中に約4割の自治体で生徒1人1台のPC環境が整備されます。

このように情報科教育をめぐる状況が変化するなか、本学会では、一昨年末のJAEIS

本号目次

学会長あいさつ	1	案内 第18回研究会	7
報告 第14回全国大会	3	案内 各支部等	8
報告 第17回研究会	5	事務局からの連絡	9
報告 第13回フォーラム	6		

フォーラムにて「大学入学共通テスト『情報』新設」をテーマに、大学入試センターの水野試験問題調査官（情報担当）にもご出席いただき、共通テスト「情報Ⅰ」に関する議論を深めました。また、昨年の全国大会では、「GIGAスクール時代における情報科教育の役割」をテーマに掲げ、研究発表やパネルディスカッションをオンラインで実施しました。初めての試みとして企画セッションを設け、2つの委員会が担当して、教員研修・教員養成の観点、さらに授業教材の観点から、新科目実施に向けた課題と展望についての議論も行いました。

大学入学共通テストへの「情報Ⅰ」導入の決定を受けて、本学会として、10月30日付けで、国公立を問わず多くの大学において、出題される「情報Ⅰ」を入学者選抜に取り入れることや、質の高い問題が作られることを期待するとともに、学会として、情報科の大学入試に関わる課題解決や入試問題の質向上に貢献することを、メッセージとして学会のWebページに公開しました。

また、2020年度から取り組みを始めた「JAEIS基金」を活用して、「幼児教育および初等・中等教育に所属する教員の実践研究に対する支援事業」を開始しました。「JAEIS基金」に寄付をいただいた皆様には、重ねて御礼申し上げます。昨年8月から10月にかけて公募を行い、2件の応募がありました。実践研究奨励特別委員会を組織して審査を行った結果、2件とも採択され、年明けから研究が進められています。この実践研究支援事業は、来年度も継続して実施したいと考えています。引き続き、「JAEIS基金」へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年、12月25日（土）には、「『情報Ⅰ』の確実な実施に向けて」をテーマに、恒例のJAEISフォーラムをオンラインで開催しました。文部科学省の田崎教科調査官の講演「『情報Ⅰ』実施に向けての要点整理」に続いて、パネルディスカッションでは、情報学教育カリキュラム検討委員会の先生方が、今年4月から実施される「情報Ⅰ」の年間指導計画の事例を紹介し、参加者の皆様と議論を深めました。

昨年来、事務局業務の一部を専門業者に委託する準備を進めてまいりましたが、委託業者と連携して学会の事務業務を行う体制に徐々に移行しています。年明けには、「会員マイページ」を開設して皆様にご案内いたしました。今後も、皆様が本学会関連の情報にアクセスしやすい環境を構築するなど、会員サービスを高めていきたいと考えています。現在、学会誌第14号の編集が進められていますが、新しい事務体制の下で、3月までには会員の皆様にお届けすることができると思います。

日本情報科教育学会が設立されて14年が経過しました。この間、情報科教育は、徐々にではありますが、確実に、学校教育のなかで果たす役割や期待が高まっています。本学会では、引き続き、皆様の情報科教育に関する研究や実践の活動に資する取り組みを進めていく所存です。

新型コロナウイルス感染症の完全な収束が見通せない状況です。今年もwithコロナの中で教育・研究活動を行うことになるとは思いますが、皆様にとって、そして新しい教育課程が始まる情報科教育にとって、2022年が素晴らしい年になりますよう心よりお祈りいたします。

日本情報科教育学会第14回全国大会を終えて

全国大会企画委員長 浅羽修丈（北九州市立大学）

日本情報科教育学会（JAEIS）第14回全国大会を、「GIGAスクール時代における情報科教育の役割」のテーマのもとで、2021年7月3日（土）・4日（日）の2日間にわたり開催させていただきました。本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けまして、昨年度に引き続きオンラインでの開催に至りました。大会の運営に携わっている学会関係者の皆さまには、慣れないオンライン開催にも関わらず、色々と柔軟に準備を進めていただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、GIGAスクール構想により、2021年度より小中学校における1人1台端末及び高速大容量の通信環境下での学びが本格的にスタートしました。さらに、新学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力と同様に学習の基盤となる資質・能力として位置づけられました。子どもたちがいつでもどこでも1人1台端末を活用することにより、教科等における主体的・対話的で深い学びにおける効率的・効果的なICT活用に加え、子どもたちの情報活用能力も向上します。すなわち、基本的な操作、問題解決・探求における情報活用、プログラミング、情報モラル・情報セキュリティ等の情報活用能力を身につけた子どもたちが高等学校に進学してきます。また、高等学校においても、1人1台端末の導入あるいは検討している自治体がある等、1人1台端末の導入の動きが始まっています。このような背景から、本大会では、小学校・中学校・高等学校を通した縦断的な視点から、また高等学校の教科等の横断的な視点から情報科教育の果たす役割について議論し、さらには1人1台ICT環境での情報科の新しい学びについても様々な知見を相互に意見交換することを目指しました。

文部科学省、経済産業省、総務省からのご後援、関係学会や研究会など5団体からのご協賛に加え、4社の企業からの広告をいただきました。大会の発展にご支援・ご協力いただきましたこと、深く御礼申し上げます。

今大会では、108名の方々からご参加をいただきました。本大会プログラムにおきましては、基調講演1件、企業セッション4件、招待講演1件、口頭による研究発表28件、企画セッション2件、パネルディスカッション1件のご登壇をいただきました。ご登壇いただいた皆さまだけでなく、各テーマについて議論に参加していただいた皆さまに、深く御礼申し上げます。

大会初日には、基調講演、企業セッション、招待講演、口頭による研究発表が行われました。基調講演では、西野和典教授（日本情報科教育学会 会長、太成学院大学）から「情報科教育の新しい役割と実践研究」という題目でご講演をいただきました。本講演では、Kolbの経験学習のモデルを、小・中・高校に亘る大きな学習サイクルと捉えるという独自の視点から、初等中等教育におけるより高度なICT活用の可能性についてのお話しをいただきました。

企業セッションでは、開隆堂出版株式会社様、株式会社大塚商会様、日本マイクロソフト株式会社様、Google様にご登壇いただきました。各企業が提供する教材や学習支援サービスを紹介していただきました。

招待講演では、田崎丈晴調査官（文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官、文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官）から「新学習指導要領における教科情報の動向」という題目でご講演をいただきました。本講演では、「情報Ⅰ」実施までのスケジュールを確認したり、GIGAスクール構想等、教科情報に関わる動向を確認したりしながら、新学習指導要領の着実な実施に向け、行うべき準備についてのお話をいただきました。

大会2日目には、企画セッション、パネルディスカッション、口頭による研究発表が行われました。企画セッションでは、JAEIS教員養成・研修委員会からは「情報科を充実させるための教員研修・教員養成の研修」というテーマで、JAEIS教材研究・教育実践委員会からは「文科省作成の情報Ⅰ・情報Ⅱ教員用教材から見る新科目実施に向けた課題と展望（ラウンドテーブル）」というテーマで、それぞれ企画を立ち上げていただきました。各テーマにおいて、多くの参加者とともに活発な議論がなされました。

パネルディスカッションでは、コーディネーターとして香山瑞恵教授（信州大学）、パネリストとして青山陽介教諭（春日井市立岩成台中学校）、鹿野利春教授（京都精華大学メディア表現学部）、長江一範教諭（福岡県立糸島高等学校）、林一真教諭（名古屋市立白水小学校、名古屋市立学校指導員（情報教育担当））をお招きし、「1人1台端末時代における情報科教育の役割と可能性」というテーマでディスカッションが行われました。このパネルディスカッションでは、小・中・高等学校での1人1台端末に関する取り組みや実践を踏まえて、縦断的かつ横断的な視点で1人1台端末を効果的に活用するためのアイデアを共有するとともに、1人1台端末時代における情報科の果たす役割と可能性について、それぞれの立場から議論しました。

GIGAスクール時代を迎え、児童・生徒が高速大容量のネットワークに繋がった端末を1人で1台使いながら学習を進めることとなります。そこには、教育・学習効果の面から多くの可能性を秘めています。現場で実際に活用していく中で見えてくる問題も出てきています。今大会は、このような教育・学習環境の大きな転換期における様々な経験やそこで得た知見について、参加者の皆さまと意見交換する場を提供できたのではないかと考えております。この意見交換が、情報科教育の未来をより良い方向に導くきっかけになってくれることを期待しています。

最後になりましたが、本大会の運営に多大な尽力を賜りました皆さま方に、本紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

東海・中部支部 高橋 等 (静岡産業大学)

2021年11月13日(土)に、東海・中部支部の担当で第17回研究会がオンライン開催されました。研究会では、5件の発表が行われ、参加者は約40名でした。

研究会プログラム

日時：2021年11月13日(土)

場所：オンライン

13:00～13:05 開会の挨拶

13:05～13:30 台湾におけるオンライン AI 授業の試験的実践 - 日台の大学生を対象に -
竹中温雄 (不用客氣設計有限公司)

13:30～13:55 大学英語科目の授業における IT リテラシとプログラミング教育の実践
豊田典子 (新潟医療福祉大学)

13:55～14:20 WaPEN および PyPEN における新機能の実装
中西渉 (名古屋高等学校)

14:20～14:30 休憩

14:30～14:55 高等学校情報科「情報Ⅰ・Ⅱ」に対応した学びのデザインの提案-「情報デザインとコンテンツ」-
佐藤万寿美 (同志社女子大学)

14:55～15:20 タートルグラフィックスによるプログラミング学習教材と問題解決モデルを
適用した指導
高橋等 (静岡産業大学)

15:20～15:30 閉会の挨拶

14:00 - 14:05 開会の挨拶

各発表において活発な質疑応答が行われました。

ご出席いただきました皆様と、準備等を担当いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

日本情報科教育学会 第13回フォーラム

研究委員会 尾崎知伸（日本大学）

第13回フォーラムは、「『情報 I』の確実な実施に向けて」をテーマとし、2021年12月25日（土）にオンラインでの開催となりました。

フォーラムプログラム

日時：2021年12月25日（土）

場所：オンライン

13:30 開会の挨拶

13:40 講演「『情報 I』実施に向けての要点整理」

田崎 丈晴

（文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官、
文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室教科調査官、
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育 課程調査官）

14:40 休憩

14:50 パネルディスカッション

テーマ： 「情報 I」はこのように実施される

司会： 森本康彦（東京学芸大学）

パネリスト：萩谷 昌己（東京大学 教授）

井手 広康（愛知県立小牧高等学校 教諭）

山下 裕司（山口県立岩国高等学校 教諭）

16:35 閉会の挨拶

16:45 終了

開会挨拶の後、文部科学省の教科調査官である田崎丈晴先生に「『情報 I』実施に向けての要点整理」というタイトルでご講演をいただきました。講演では、『情報 I』実施に向けての要点と必要な準備についてご説明いただきました。

その後のパネルディスカッションでは、東京学芸大学の森本康彦先生が司会を務め、「『情報 I』はこのように実施される」というテーマで、大学と高校の立場・視点から見解と先進的な事例について討論が行われました。招待講演、パネルディスカッション共に活発な意見交換が行われ、有意義な会となりました。

ご出席いただきました皆様と、準備等を担当いただきました研究委員会および全国大会企画委員会の皆様に感謝申し上げます。

第18回研究会開催のご連絡

日本情報科教育学会 会長 西野和典
研究委員会 委員長 尾崎知伸
担当 近畿・北陸支部 支部長 武村泰宏

近畿・北陸支部講演会及び第18回研究会開催のご連絡

会員の皆様におかれましては、益々、ご清栄のことと存じます。
日頃より、学会の活動につきまして、ご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。
以下の通り、近畿・北陸支部講演会及び第18回研究会を開催します。

- ・日時：2022年3月6日(日) 13:00～16:45(予定)
- ・場所：Zoomによるオンライン開催 (ZoomのURL等は開催前にメール連絡)
- ・研究発表申込締切：2022年2月7日(月)
- ・研究発表原稿締切：2022年2月20日(木)
- ・参加申込締切(発表者も含む)：2022年2月20日(木)

[本件に関するお問い合わせは以下にお願いいたします]

近畿・北陸支部 支部担当
(E-mail) kenkyu-paper@jaeis.org

案内 各支部等

近畿・北陸支部から

○ 近畿・北陸支部協賛 ICTを利用した学習指導者研修講座2月特集のご案内

日時：2022年2月20日(日) 13:00～16:00 (オンライン開催、12:30より入室可能)

当日の参加方法およびオンデマンド教材(予習用)は、事前に参加申込者へお知らせします。

内容：テーマ ー高等学校「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」に対応した情報科の学習指導ー

【研修1】情報デザインとコンテンツ 13:10～14:00

【研修2】データ活用とデータサイエンス 14:10～15:00

【研修3】モデル化とシミュレーション 15:10～16:00

本件に関するお問い合わせ先 「ICTを利用した学習指導者研修講座」事務局(NPO 法人学習開発研究所(ILD)内) ild-kensyu@u-manabi.org

○令和3年度本情報科教育学会 近畿・北陸支部講演会及び研究会

日時：2022年3月6日(日)

場所：Zoomによるオンライン開催

日程：10:00 近畿・北陸支部理事会・総会

11:00 学会本部 理事会・評議員会

12:00 昼食

13:00 講演会・研究会

16:40 閉会の挨拶

参加費：会員・非会員とも無料

問い合わせ：

近畿・北陸支部事務局長 北野堅司 110-k-kitano@mikunigaoka.osaka-c.ed.jp

東海・中部支部から

○令和3年度日本情報科教育学会 東海・中部支部総会並びに研究会

日時：2022年2月19日(土)

場所：Zoomによるオンライン開催

日程：13:00 役員会(役員のみ)

13:30 総会(全支部会員)

14:00 研究会(全会員・一般)

16:30 閉会

※研究発表の数により終了時間の変更があります。

参加費：無料

参加方法とWebページ：

参加申し込みは総会・研究会Webページから参加登録サイトにて登録してください。

総会・研究会 Webページ <http://f-ssu.com/jaeis-tc/>

参加登録サイト <http://f-ssu.com/jaeis-tc-atnd/>

事務局からの連絡

事務局からの連絡

- ・所属等の変更のある方は、至急、ご連絡ください。
- ・会費未納の方は、会費の納入をお願いします。年会費が未納の場合、学会誌に投稿できない、学会誌が送られない、また、全国大会や研究会（研究委員会主催）での発表ができないなどの措置がとられます。

金額等については、以下のURLでご確認ください。

<http://jaeis.org/nyukai/>

会費振込口座

【金融機関名】 三井住友銀行 高田馬場支店(273)

【口座種別】 普通預金口座

【口座番号】 4435574

【口座名義】 日本情報科教育学会（ニホンジョウホウカキョウイクガクカイ）

※ 振り込み手数料につきましては大変恐縮ではございますが、各自ご負担戴きます様お願い申し上げます。なお、ゆうちょ銀行振替口座へのお振り込みをご希望の場合は、ご面倒でも事務局(jaies-jimu@jaies.org)までご連絡ください。

会員専用ページのご案内

メールでお知らせしております通り、2022年1月よりホームページ上に会員専用ページ（以下マイページ）を開設しております。マイページでは、現在学会に登録されているご自身の情報の閲覧・変更および会員名簿の検索・閲覧をすることができます。

なお、閲覧できるのは、氏名の他、公開を許可した項目です。公開可否情報は「登録情報の変更・確認」から変更をお願い致します。

また、2022年度会費より請求書のダウンロード、クレジット決済、領収書のダウンロードが出来るようになります。準備が整いましたら改めてご案内致します。

日本情報科教育学会ニューズレター No. 34 2022年1月28日

発行所 日本情報科教育学会事務局

<http://jaeis.org/>

E-mail jaeis-jimu@jaeis.org

発行責任者 広報委員会

委員長：高橋 等（静岡産業大学） 副委員長：坂田 圭司（東海大学）

委員：笥 捷彦（東京通信大学） 池田 勇（植木保育園） 青山 貴史（福岡県立新宮高等学校）

齋藤 ひとみ（愛知教育大学） 後藤 隆彰（東洋大学） 尋木 信一（有明工業高等専門学校）

永田 奈央美（静岡産業大学）